

令和4年度 学習分析事業 改善計画 三原市立西小学校

1. 本年度の結果

①学力定着分析 NRT 偏差値平均 (全国を50とする)

		2年	3年	4年	5年	6年	全体
国語	前年度結果 偏差値平均	/	57.7	55.4	53.8	58.7	56.5
	本年度結果 偏差値平均	52.9	55.3	52.3	54.5	50.7	53
算数	前年度結果 偏差値平均	/	57.5	53.8	54.8	55.5	55.5
	本年度結果 偏差値平均	49.6	53.6	54.3	54.4	50.6	52.4
理科	前年度結果 偏差値平均	/	/	/	47.4	54	52.2
	本年度結果 偏差値平均	/	/	50	49.3	49.9	49.8
全体	前年度結果 偏差値平均	/	57.6	54.5	52	56.1	55.2
	本年度結果 偏差値平均	51.2	54.5	52.2	52.7	50.4	52.1

②全国学力・学習状況調査 正答率平均 (第6学年対象)

教科	国語	算数	理科
前年度結果 (対県比)	68 (103)	69 (98)	/
本年度結果 (対県比)	72 (107)	65 (102)	67 (102)

2. 調査から明らかになった課題

<p>【年度当初の学力について】(NRTをうけて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●国語では、考えや感想をもって伝え合う(47.9%)、目的に応じて書く(45.2%)、などに課題があった。 ●算数では、表とグラフ(58.4%)、分数(53.5%)と課題があった。 ●理科では、物の種類や水の温度と解ける量(47.6%)、天気と気温・雨水と地面(50.2%)月や星の動き方と特徴(51.6%)と課題があった。 	<p>【年度当初の学力について】(全国学力・学習状況調査をうけて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●国語科では、書くこと(59.0%)に課題があった。 ●算数科では、データの活用(65.4%)、図形(63.3%)、割合(20.3%)に課題があった。 ●理科では、昆虫のからだづくり(69.6%)水溶液の凍り方(44.3%)光の性質(24.1%)に課題があった。
--	---

3. 課題解決に向けた学校組織全体の重点目標・取組

重点目標 (何を、どの程度達成するか)	達成のための具体的取組 (どのようにして)	スケジュール	検証の指標・目標
<p>【授業改善を通じた学力・学習意欲の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全教諭が「問いの設定」を意識した授業を実施できるように研修を組み共通認識を図る。 ○全教諭が、年間1回以上の授業研究を行い、事後研修を設け、授業力向上を図る。 ○学力調査問題・全国学力・学習状況調査を基に、重点課題を把握し、全学年で系統的に取り組む。 	<ol style="list-style-type: none"> ①NRTの誤答分析による実態把握と改善計画の立案 ②学校経営会議において改善計画の共有 ③全体研修による目指す授業の共有、学力向上における年間スケジュールの共有を全職員で実施 ④全教諭、年間2回の授業研を実施し、単元構想シートをもとに教員間・管理職・指導主事による研究授業参観を行い、事後研修を設け、授業の分析を行う。また、管理職、指導主事の指導を受ける。 ⑤全教諭による全国学力・学習状況調査の誤答分析による実態把握し、課題のある単元を焦点化し、学年が系統的に取り組むようにする。また、全校共通の家庭学習プランにし、プリント国語科(主に読む)・算数科(当日習ったもの)に毎日取り組む。 ⑥学力調査問題における正答率の低い問題を重点的に解説するとともに、類似問題・アシストシートをドリルタイムで実施 ⑦学力調査問題を授業時間に設定し、本番同様に実施、解説 ⑧全国学力調査に向けて、本番同様に実施したり、1クラス3人以上の教員が指導。 ⑨算数科において、図・式・言葉を関連付けて考えられるよう全学年で指導を行う。 ⑩放課後補習の時間を設定し、学力の定着に課題がある児童の個別指導を行う。 	<ol style="list-style-type: none"> ①①6月 ②6月 ③5月および6月 ④5月～2月 ⑤8月 ⑥4月～3月 ⑦3月～4月 ⑧2月～4月 ⑨9月～3月 ⑩9月～3月 	<ul style="list-style-type: none"> ・Q-U2回目の学習意欲の数値(全学級で全国得点+0.5以上) ・各学期まとめテスト平均値(全学級80%以上) ・「考えの形成」を見取る活用シート(1・2学期)及び「考えの形成」を見取る自作問題(3学期)の正答率(全学級80%以上)
<p>【学級・学習集団づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全学級において、学習ルールを決め、徹底できるようにする。 ○帰りの会で友だちの良いところを見つけをして、自己肯定感を高める。 ○教科担任制を取り入れ、複数の教師の視点で児童のよさをや変化を見つけるようにする。 	<ol style="list-style-type: none"> ①Q-Uの分析による実態把握と改善計画の立案 ②クラスで目標を決め、達成できた時には、シートに評価をためていく。視覚化することで、クラスで統一して頑張ろうとする意欲をもたせる。 ③帰りの会で、友だち(日直)の良いところを称賛するなど、頑張りを認め合える雰囲気をつくらせる。 ④児童の様子(具体的にどのようなかわりを求めているのか)を複数の教員で共有し、教員からしっかりとかわっていく。 ⑤Q-Uの結果を基に分析し、面談を行い、悩みを聞きながら解決したり支援したりする。 	<ol style="list-style-type: none"> ①6月・9月・1月 ②6月・7月～3月 ③④⑤4月～3月 	<ul style="list-style-type: none"> ・Q-U2回目の一次支援の数値向上(全学級で1回目以上) ・学級満足度全クラス65%以上